



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名	日ノ丸産業株式会社
所在地	鳥取市富安 2 丁目 11 番地
代表者	代表取締役社長 森下 明男
業種	小売業
事業概要	弊社は創業以来 70 年の歴史を積み重ねて参りました。石油、ガスを中心としたエネルギー事業、太陽光発電や家庭用燃料電池、新築・リフォームのハウジング事業、国内外旅行・料亭（有隣荘）の観光事業を展開しており「鳥取を元気に」を合言葉に活動しています。

とっとりSDGs 企業認証 申請チェックシート

[申請者名: 日ノ丸産業株式会社]

2030 年に目指す姿

1-1<2030 年に目指す姿> SDGs の達成に向けた自社の目指す姿を記載してください。

※自社の現状や、実行可能な取組からの積み上げで目標を設定するのではなく、自社が SDGs の達成に貢献するために 2030 年にはどんな企業でありたいかを検討し、記載してください。

当社は『エネルギー・住まい・暮らしのプラットフォーム企業』を経営ビジョンに鳥取県内を中心に「石油」「ガス」「ハウジング」「観光」の 4 部門においてエネルギーの安定供給並びに快適な暮らしを守るとともに観光では個人旅行から団体旅行まで鳥取を元気にすることを目的に地域のニーズに応じたサービスの提供を続けております。

昨今の地球温暖化に起因する自然環境の変化や自然災害の増加が予想される状況にある中で、地域のライフラインに関わる事業者として供給責任を持続しながら石油では五反田 SS と鳥取駅南 SS が国の大気環境配慮型 SS「イース」に認定され又、ガスでは CO2 排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル LP ガス」を購入し地球環境へ配慮した営業を深めていくことで持続可能な環境・社会・経済の実現に貢献していく地域に不可欠な企業を目指します。

そのために温室効果ガスを排出しない太陽光発電をはじめとしたクリーンエネルギーを地域へ供給し地域のエネルギーインフラを支えていきます。お客様にて“もしもガス器具の消し忘れやガス漏れ等が発生した場合”異常を自動で検知し、NTT 回線を通じて 365 日 24 時間体制で集中監視センターへ保安情報が送信され迅速に対応できる保安体制を強化することで地域の安心・安全を確保し、太陽光発電等の環境に優しいエコエネルギーや県産材利用による地産地消を進め、環境に優しい住宅の普及を図り、『まちにやさしく、ひとにやさしく』をモットーに地域の未来を牽引する企業となるため以下の取組みを行います。

1-2<上記の目指す姿の実現に向けた重点的な取組> 該当するチェックシートの取組項目を記載してください。

経済-1 事業継続計画(BCP)の策定

環境-9 環境配慮型商品・サービスの提供

1-3<重点的な取組推進時のインパクト(正の影響、負の影響)の分析・考察>

上記の重点的な取組を実施することが、他方面へどのような影響をもたらすか、その効果だけでなく、負の影響も含めて分析し、記載してください。

◆事業継続計画(BCP)の策定・自然環境の変化が経営にもたらす影響

既に計画を作成し着手しています。緊急時にも供給責任を果たし、顧客の安全・信用と地域経済の活力を守るため、従業員の安全・雇用を保全しながら自社の経営を維持・継続を図る。事業者として各種ガスの供給・製造について大規模な供給途絶を招くことが無いよう、またライフライン事業者として社会的使命を果たすため仕入先への供給確認・配送確認、各地区営業及び応援人員体制を整える等の必要な対応・措置を事前に定めます。

反面、想定されるリスクは多様化し今後も計画の更新は必要と認識しております。また災害発生時は本業以外の対応となりその長期化や非円滑な業務の発生が予想されます。本業継続とこのリスクに備えるためには一定以上の社員確保コストと災害発生時にはその対応コスト発生の影響が予想されます。

◆環境配慮型商品・サービスの提供

地球温暖化や酸性雨の要因とされる CO2・SOX・NOX の対策上、石炭や原油に比べて LP ガスはクリーンなエネルギーです。また環境にやさしい LP ガスを燃料とした GHP は、学校・病院・工場・商業施設・事務所等への導入が急速に普及しており、塩素を含まない新媒体(代替フロン)に転換することでオゾン層の破壊が避けられています。また CO2 排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル LP ガス」を購入し CO2 削減に貢献していますが、通常の LP ガスと比べて費用が上乗せされるため費用が割高となりますが購入は続けていきます。

ガソリン給油時などに大気中の放出される有害な燃料蒸発ガスを回収し液体に戻して再利用する計量機を導入した環境に優しいガソリンスタンド(国の大気環境配慮型認定のイース)へ転換しましたが、認知度が低く利用が少ない状況であります。

また 1 次エネルギーの使用削減に直結する ZEH 基準を満たした新築住宅を推進・販売していきますが、一般住宅に比較して建築コストが 15% 増加となります。

社会

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	労働災害の防止	○	【主な取組】 ・業務中に発生した事故やトラブルの内容を全社で情報共有。 ・また、その内容を全社展開し、安全意識の啓発を行っている。 ・社用車にはドラレコを設置。 ・事故発生時は、確認し、具体的な事故防止策を実施。 ・定期健康診断の実施。	【今後の目標・達成時期】 ・労災発生件数年間 0 件/年 【目標達成に向けた取組】 ・労働災害、交通事故防止対策を実施することで従業員が安心して働ける環境を整備する。(R7年3月) ・採用時に基本作業並びに事故防止のための教育指導を徹底する。 ・各部門の取決めルールを所属長より日々、注意喚起を行う。
2	ハラスメントの防止	○	【主な取組】 ・相談窓口の設置。 ・ハラスメント防止規程整備。 ・規程内容を全社周知。	【今後の目標・達成時期】 ・ストレスチェック結果の職場の対人関係でのストレス値を低減する。(R7年3月) 【目標達成に向けた取組】 ・全社員にハラスメントの未然防止のための研修を実施。 ・若手、中堅、管理職研修実施。
3	女性の活躍	○	<KPI> 全従業員に対する女性の割合 24.6%(R5年3月時点) 全管理職に対する女性管理職の割合 23.2%(R5年3月時点) 【主な取組】 ・鳥取県輝く女性活躍パワーアップ企業として、男女問わず意欲と能力のある社員が正しく評価され活躍できる企業として、制度改革および全社員の意識改革を図る。 ・くるみん認定。 ・女性社員の職域拡大。 ・女性の継続就業支援。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> 全従業員に対する女性の割合 30%(R10年時点) 全管理職に対する女性管理職の割合 30%(R10年時点) 【目標達成に向けた取組】 ・女性社員を対象とした研修、セミナーへの参加推奨。 ・女性社員の能力に応じ積極的に管理的地位へ登用する。
4	障がい者が働きやすい職場づくり ★従業員数が43.5人以上の企業の場合は、法定雇用率を満たしていること	○	<KPI> 障がい者雇用者数5人(R5年3月時点) (※雇用率2.7% R5年3月時点) 【主な取組】 ・ハローワークへの求人募集。 ・障がい者向けの企業説明会へ参加。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> 障がい者雇用者数6人(R7年3月時点) (※雇用率3.0%(R7年3月時点) 【目標達成に向けた取組】 ・生活支援センターしらはまの職場実習を利用し働く体験をしてもらい、働くことへの不安を取り除き意欲を高めてもらう。
5	多様な人材の活躍	○	【主な取組】 ・定期的な制度があるわけではないが、6ヶ月～1年経過後、本人の意思、会社の評価により非正規雇用者の正規雇用への転換促進。同一労働同一賃金の考え方に基づく賃金制度。 ・部門ごとに資格取得推進。 石油⇒危険物乙種第4類・整備士等 ガス⇒第1種、2種販売主任者・丙種科学液石 丙種科学特別等 ハウジング⇒建築士・電気工事士・電気施工管理技士等 観光⇒旅行業取扱主任者 ・部門間異動。	【今後の目標・達成時期】 ・定年以降もモチベーションを維持し、長年の経験や技術を活かして長く働いてもらうため生産性の向上や若手社員の人材育成を実現し、継続的に人材への投資を行っていく。 ・中途採用数6名。(R7年3月) 【目標達成に向けた取組】 ・積極的な中途採用実施として新たに求人サイトへの掲載(有料)並びに人材派遣への依頼。 ・ゼンリンによるポスティング。

6	多様な働き方の促進	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・週1回ノー残業デーを設けている。 ・健康経営の推進。(健康経営優良法人2023大規模法人部門認定) ・健康経営年間計画として定期健康診断・ストレスチェック・保健指導・予防接種・メンタルヘルス研修の実施。 ・SSにおいて夜間は警備会社へ外部委託しガスにおいては24時間体制で集中監視センターへ外部委託し保安体制を整え職員への負担を軽減している。 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断実施後の再検査、精密検査の受診率を現状80%から100%に上げる。(R7年3月) ・健康経営優良法人2024大規模法人部門認定。 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の健康意識向上に向け毎月健康アップ通信を発信。
7	労働者への人権配慮	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・出勤時には各々がパソコンで打刻入力を行い正確な労働時間を把握し、時間外労働の抑制を行っている。 ・年1回ストレスチェックを行い、メンタルヘルス不調の未然防止を図っている。 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇取得日数を現状7日から10日へ促進。(R7年3月) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・仕事だけでなくプライベートの充実を図ってもらうために、有給休暇取得日数を現状7日から10日へ促進。 ・本人またその家族の誕生日など記念日取得制度。
8	社会配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に配慮した商品・サービスは環境9に記載してください</u>	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへお問い合わせについて掲載し、電話・メールで対応できる体制をとっている。 ・中山間集落見守り活動においてガス保安点検時、契約のない独居老人宅にも郵便物チェックをしたり声掛け等を行っている。 ・石油やガスの安定供給の責任を果たし地域のエネルギーインフラを支えている。 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・各事業部門が連携しながら私たちの地域に貢献するサービスを提供、提案。(R7年3月) ・本社新社屋を「地域の木材の地産地消のモデルルーム」と位置付け鳥取県の非住宅の木造建築化を後押しするため、民間企業、公共機関問わず見学会の実施。(R7年3月) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・EV時代に備え、電動車の充電、給電装置の一体化。
9	地産地消	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・地元資源、製品の優先的利用、活用。有隣荘での地元食材の利用。 ・子会社での農産物の生産。 ・県産材を使用した木造の新社屋を建築。 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・県産材利用、活用で地球環境に優しい住宅普及に努めていく。(R7年3月) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・工務店、建材販売店などに向けた技術研修。
10	地域社会への貢献 <u>※環境に関する内容は環境10に記載してください</u>	○	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・あいサポート運動。 ・地域未来牽引企業に選定 ・本社社屋が災害時における避難場所としての施設利用を鳥取市と協定。 ・コインランドリーてんとうむし賀露店が災害時における施設利用を賀露町自治会と協定。 ・グループ企業におけるボランティア活動及びイベントの開催。 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取を元気にする為、内外部へ活動内容を周知する。(R7年3月) ・地域に貢献し鳥取の元気を！を目的にグループ各社での連携強化。(R7年3月) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ各社の間接応援になる告知活動。 ・TVや新聞のマスメディア告知広告。 ・美術展・音楽会・スポーツ大会への特別協賛。 ・SNS インスタグラム HP。 ・社内、社外への広報活動の充実。

経済

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	事業継続計画 (BCP)の策定 ★BCPを策定していること	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCP および緊急時、ハンドブックを策定し共有化している。 ・半年ごとに訓練の実施。 ・サーバーのデータセンターへのハウジング。 <p>災害の被害を受けにくいとされるデータセンターへの基幹サーバーの設置。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフライン事業者として社会的使命を果たすため仕入先への供給確認・配送確認、各地区営業及び応援人員体制を整える。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電機運用訓練。(R7年3月) ・災害時用炊き出しセットの運用訓練。(R7年3月) ・BCP訓練を年2回実施。(初動連絡体制・各部の初動対応) ・毎年BCPを見直し。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時でもエネルギー供給を途切れさせることなく地域の事業や生活を支える企業として訓練や社員教育を通じて、BCPの実効性を高め、有事の際に社員が機動的に動けるようにする。 ・「社外秘」項目もある。社内では「各種行動規範」を定め、皆知っていて、実践もできる状況にあり更新後も体制を維持する。
2	セキュリティ対策	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UTM装置の導入。 <p>パソコンのウイルス対策に加えて自社のネットワークの内と外のセキュリティ強化の為、UTM装置を導入して外部からの攻撃に対策している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本社を含めた各拠点全てに警備会社と契約し夜間のセキュリティを強化している。 ・警備連絡網の整備。 <p>緊急時には本社を含めた各拠点全てに警備会社→次席→所属長への連絡体制を整えている。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ対策を明確にすることで顧客からさらに信頼される企業を目指す。(R7年3月) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業機密情報の取扱い規定を策定し、社内の秘密管理体制を徹底する。
3	法令順守の取組の徹底 必須項目	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門ごとに定期的な基本教育の実施。 ・部門ごとの内部監査。 ・各拠点ごとの営業職員に対し、朝と夕方にアルコールチェックの実施。 ・社用車全車両にドライブレコーダーを搭載し事故抑止促している。 ・コンプライアンス規定を設け周知し教育指導を実施しチェックしている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガバナンス強化を徹底し、地域社会からさらに信用される企業を目指す。(R7年3月) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部通報制度を整備し不正行為や法令違反などの問題を早期発見、対応する。
4	情報公開	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへ会社概要、部門ごとの説明、SDGs取組み、健康経営の取組み、採用情報等掲載している。 ・マイナビに登録し就職活動に必要な情報を提供している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会から永続的に必要とされる企業を目指す。(2030年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のホームページの掲載内容を新しく変更する。 ・会社概要パンフレットを新しく変更する。
6	コロナなどの市場変化を見据えた対応	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内会議、採用面接等可能なものはリモートで実施している。 ・社外セミナー、研修会等リモートでの参加。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光事業においてはアフターコロナの旅行需要が増えている中、対応できる人員が不足している為、人員確保に注力。(R6年3月) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な中途採用実施として新たに求人サイトへの掲載(有料)並びに人材派遣への依頼。

8	デジタル化による生産性向上	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RPAの活用推進。 ・オンライン会議システム。 ・Teamsにより移動時間短縮。 ・保安業務におけるデジタル遠隔操作による時間短縮。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化をすすめ業務効率化を図り、顧客対応スピードを上げることで顧客満足度を向上させる。(R7年3月) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務作業のペーパーレス化。 ・お客様への対応速度の向上。
9	雇用の維持・拡大	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生の充実。(慶弔見舞金、旅費、レクリエーション補助、育児・介護休暇、健康診断、資格取得手当等) ・インターンシップの実施。 ・新卒、中途採用。 ・積極的に企業説明会への参加。 ・産休、育休制度が利用しやすい環境づくり。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア社員を活用し、長年のノウハウを活かし、生産性の向上や若手社員の人材育成を実現(R7年3月) ・採用(中途、再雇用含む)6名(R7年3月) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員の期限満了時、面談を実施し本人の継続意志と会社の思いを伝え再雇用を促す。
10	人材育成・能力開発	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回若手、中堅、管理職研修の実施。 ・半年1回部門単位で人材育成研修の実施。 ・資格取得制度を設け、技術手当/月の支給と取得費用の助成。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修へ積極的に参加させることで社員のスキルを向上させる(R7年3月) ・新入社員に関しては必須資格である危険物乙種第4類・第二種販売主任者・第一種販売主任者は取得させる。(毎年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートも含め積極的に参加するようアナウンスする。 ・外部講師による研修受講。

環境

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	【気候変動リスク・機会の分析・対策①】 自然環境の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・災害時における石油、ガスの供給機能不全が考えられる。 ・災害による倒壊で営業停止。 【分析に基づく主な取組】 ・BCPの運用。 (初動連絡体制・各部の初動対応・ガス部においては顧客の災害状況巡視、復旧の優先順の確認・避難所等の開設に係る鳥取市との連絡先) ・訓練内容。 (本社会議室に本部を設け、各支店とオンラインでつなぎ連絡体制を整える→従業員とその家族の安否確認・施設、営業車両、近隣の被害状況・営業継続の可否確認)	【今後の目標・達成時期】 ・災害発生時における石油、ガス供給機能の維持、向上。(R7年3月) 【目標達成に向けた取組】 ・災害発生時においても会社機能を維持する。 ・訓練や社員教育を通じてBCPの実効性を高める。
2	【気候変動リスク・機会の分析・対策②】 社会・制度の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・国の2050年カーボンニュートラル宣言を受け、CO2排出削減、気候変動対策の法規制等により、化石燃料の需要は減少している。よって弊社の売上数量も今後減少が予想される。 【分析に基づく主な取組】 ・再生可能エネルギーである太陽光発電、関連商材である蓄電池の提案。 ・ZEHの提案。	【今後の目標・達成時期】 ・カーボンニュートラルLPガスのエンドユーザーへの拡大。(R5・6・7年) 【目標達成に向けた取組】 ・本年度、「カーボンニュートラルLPガス」を100トン購入し、334トンのCO2削減に貢献した。令和5年度には200トン、6年度には300トン、7年度には400トンの購入を予定しておりエンドユーザーへの拡大を勧める。
3	【環境負荷リスクの分析・対策】 自社の事業活動が引き起こす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・地域のエネルギーインフラを支えるわが社は石油やガス事業における安定供給の責任を果たしていくうえでの輸送・配送面でのCO2排出。 【分析に基づく主な取組】 ・EV用充電設備を計画。 ・建屋屋上に太陽光パネルを設置し電力の自家消費でCO2排出量の削減。	【今後の目標・達成時期】 ・ガス事業においては遠隔監視システム及び自動検針による効率化。 遠隔操作(現在85%→R7年3月100%) 【目標達成に向けた取組】 ・災害に強いLPガスを通じて、地域防災に貢献することで、LPガスの存在意義を認知してもらう。 ・各支店ごとに防災訓練の実施。
4	【カーボンニュートラル①】 ＜省エネ＞燃料消費量の削減 重点項目	○	<KPI> CO2排出量 564t-CO2/年(2022年12月時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)でも可 【主な取組】 ・エコドライブ。 ・アイドリングストップ。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2排出量 500t-CO2/年(2025年12月時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)や基準年に対する削減割合目標などでも可 【目標達成に向けた取組】 ・高効率機器の導入。 ・デジタル化による業務効率化を図り、時間外労働の削減。

5	【カーボンニュートラル②】 <省エネ>電力消費量の削減 重点項目	○	<KPI> CO2 排出量 462t-CO2/年(2022年12月時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)でも可 【主な取組】 ・全拠点、昼の1時間は消灯している。 ・高効率 LED 照明への取替。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2 排出量 437t-CO2/年(2025年12月時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)や基準年に対する削減割合目標などでも可 【目標達成に向けた取組】 ・省エネ機器への更新。
6	【カーボンニュートラル③】 <創エネ>再生可能エネルギーの導入 ※再エネの売電は、環境 9「環境配慮型商品・サービスの提供」に記載してください	○	<KPI> 再エネ発電量 366.372kWh/年(R4.12月時点) ※全使用電力に対する割合でも可 【主な取組】 ・建屋屋上に太陽光パネルを設置し電力の自家消費などで CO2 排出量の削減。	【今後の目標・達成時期】 <KPI> 再エネ発電量 366.372kWh/年(R7年12月時点) ※全使用電力に対する割合でも可 【目標達成に向けた取組】 ・現在増設予定はなし。
9	環境配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	【主な取組】 ・高効率ガス機器提案により LPG 利用時の CO2 排出量を削減。 ・ZEH の提案活動。 ・家庭用燃料電池(エネファーム)の販売。 ・カーボンニュートラル LP ガスの提供。 ・給油時などに大気中に放出される有害な燃料蒸発ガスを回収し液体に戻して再利用する計量機を導入したガソリンスタンド(国の大気環境配慮型認定のイーアス)へ転換	【今後の目標・達成時期】 ・カーボンニュートラル LP ガスのエンドユーザーへの拡大。(R5・6・7年) 【目標達成に向けた取組】 ・本年度、「カーボンニュートラル LP ガス」を 100 トン購入し、334トンの CO2 削減に貢献した。令和 5 年度には 200 トン、6 年度には 300 トン、7 年度には 400 トンの購入を予定しておりエンドユーザーへの拡大を勧める。 ・イーアスの認知度向上へ広報活動を行う。 ・ZEH 基準を満たした新築住宅の推進。
10	環境面での社会貢献 <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	【主な取組】 ・グループ企業におけるボランティア活動。(砂丘除草) 年一回、グループ 15 社の職員とその家族で総勢 150 人ぐらいが参加し、砂丘除草、馬の背をおりて海辺のゴミ収集。	【今後の目標・達成時期】 ・ボランティア活動の参加者を 200 人ぐらいの規模に持っていく。(毎年) ・経営理念である「私たちの地域を元気にする企業」として環境を守り続け、脱炭素対策を通過点として未来へ繋げていく。(令和 7 年 3 月) 【目標達成に向けた取組】 ・ボランティア活動を継続的に行う。(鳥取駅前・河川・土手・久松公園ほか)